

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人片柳学園		昭和31年7月10日		千葉 茂		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111																			
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																		
工業	情報科学専門課程		CG映像科			平成27年文部科学省認定	-																		
学科の目的	映像系のエンターテインメントとしての3DCGIに必要な知識と技術の習得。主に、CG作品制作の基礎となる美術力(デッサン力・造形力・観察力)、多岐に渡るCGツールのオペレーション、作品の演出・企画に関する知識等を学び、映像業界、ゲーム業界、アニメ業界で活躍できる人材を育成する。																								
認定年月日	2020年3月25日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																	
3年	昼間	2,430		420	0	0	0	2,550																	
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
240人		291人		10人	8人	15人	33人																		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 S:90点以上 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下不合格 P:単位認定																			
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月7日～9月9日 ■冬季:12月26日～1月6日 ■学年末:3月19日～3月31日				卒業・進級条件	【進級要件】 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 【卒業要件】 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。				課外活動	■課外活動の種類 フレッシュヤーズキャンプ、卒業作品展示会、学園祭展示 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) (株)カプコン (株)アンサー・スタジオ (株)アニメーションカフェ (株)イクシス (株)シーズクラフト (株)エイティング (有)オレンジ (株)サブプリメーション ジェムドロップ(株) (株)武右エ門 合同会社バイブリーアニメーションスタジオ などの、ゲーム・CG・アニメ業界各企業 ■就職指導内容 個人面談、模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、業界セミナー、キャリアデザイン、就職ガイダンス、オンラインでの作品公開 ■卒業生数 : 55 人 ■就職希望者数 : 50 人 ■就職者数 : 40 人 ■就職率 : 80 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 76 % ■その他				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	(令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>53</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>ビジネス著作権検定 B ASIC</td> <td>③</td> <td>55</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>CGクリエイター検定ベーシック</td> <td>③</td> <td>55</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 東京国際プロジェクションマッピングアワードVol.5上映				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ビジネス能力検定3級	③	53	40	ビジネス著作権検定 B ASIC	③	55	52	CGクリエイター検定ベーシック	③	55	44
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
ビジネス能力検定3級	③	53	40																						
ビジネス著作権検定 B ASIC	③	55	52																						
CGクリエイター検定ベーシック	③	55	44																						
(令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)																									

中途退学の現状	<p>■中途退学者 16名 ■中退率 6%</p> <p>令和3年4月1日時点において、在学者270名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者246名(令和4年3月31日卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 病気療養・怪我治療 他</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 担任と主任/科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。 担任による指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングループ等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。 また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も適時行っている。</p>
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有</p> <p>【片柳学園入学金免除制度】 学校法人片柳学園の設置する学校の卒業生の子女、兄弟姉妹および孫、または在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度</p> <p>【若きつくりびと奨学金制度】 社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金を給付する制度(成績優秀者特待生・課外活動優秀者特待生・資格特待生・就学支援奨学金・再進学特待生・留学生特待生)</p> <p>【再入学優遇制度】 日本工学院専門学校または日本工学院八王子専門学校の二年制学科以上の学科を卒業または卒業見込みの方が、本校の他学科への再入学を希望する際、入学選考料・入学金の免除、および審査により授業料等を減免する制度</p> <p>【留学生特別給付制度】 私費留学生の出願者全員を対象とし、入学選考試験の成績優秀者には進学支援として、入学金の一部または全額を免除する制度</p> <p>【ミュージシャン特待生】 ミュージックアーティスト科に特待生として出願し、試験に合格された方は、入学費用のうち入学金を免除する制度</p> <p>【サッカー・テニス特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって以下のいずれかを免除する制度 (入学手続時納入金免除、入学費用のうち前期授業料免除、入学費用のうち入学金免除、入学費用のうち入学金の一部を免除)</p> <p>【スポーツ特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制・スポーツトレーナー科・スポーツトレーナー科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって入学費用のうち入学金または入学金の一部を免除する制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 非給付対象</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価:有 特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日)受審 http://www.neec.ac.jp/education/accreditation/</p>
当該学科のホームページURL	<p>https://www.neec.ac.jp/department/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育内容と求人ニーズとの整合性を常に図り、求められる人材を育成する。そのために、関連分野の企業へヒアリングを行い、最新技術や業界の方向性を確認し、カリキュラムに反映させる。さらに、コンテスト(応募)を積極的に利用し、コンテスト主催者、後援団体、協賛企業から指摘を受け、学生指導(作品制作)の方向性を見直す。
また、授業科目のシラバスにおいても、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、授業内容や評価方法を定める。常に授業内容や方法を検証することにより実践的かつ専門的な職業教育を目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
篠原 たかこ	CG-ARTS(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部 事業部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	①
田中 一郎	インディゾーン株式会社 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
立花 大輔	株式会社シーズクラフト 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校 校長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
倉重 明	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
坪井 勇次	日本工学院八王子専門学校 キャリアサポートセンター センター長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
原田 俊信	日本工学院八王子専門学校 デザインカレッジ カレッジ長 CG映像科 科長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
兼松 貴世	日本工学院八王子専門学校 CG映像科 主任	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月・3月)

(開催日時(実績))

令和3年9月3日 13:00～15:00

令和4年3月23日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「カリキュラム見直し」と、コロナ対策として取り入れた「オンライン授業」について、検討、助言を受けた。

まず初めに「カリキュラム見直し」について、「業界のトレンド」を確認した後、新たなカリキュラムの提案を受けた。注視すべきトレンドは次の2点。①無償アプリの利用。②ミドルウェアの動向。順に報告する。

①無償アプリの利用について。教育機関においては、無償アプリの導入は控える傾向にあるが、企業は(有用な)無料アプリの利用を公にしないだけで、ほとんどの企業が研究・利用している。CGアプリは全般的に高額であるため、アプリ費用を削減するため無料アプリを使うのは道理だ。PCを多数所有しているスタジオは特にその傾向が強い。授業の一環として取り組むのが難しいとしても、学生が利用できる環境は整えておくべき(実習機にインストールしておくべき)。無償アプリ、特に“Blender”の積極的な利用を薦められた。

②ミドルウェアの動向について。CG系の専門学校の重要な進路先の一つである「ゲーム業界」において、代表的なミドルウェアはUnrealEngineとUnityの2つ。この内、大手のゲーム会社はUnrealEngine一択だ。スマホゲームでUnityを使用している企業もあるが一部に留まっている。さらに、UnrealEngineのバージョン5はかなり高性能だ。将来を見据えても、専門学校で取り上げるならUnrealEngineにすべきと助言を受けた。

次に「オンライン授業」について、「オンライン化の問題点」を確認した後、その解決策と新たなカリキュラムについて提案を受けた。懸念すべき問題点は次の2点。①個別指導必須(オンライン不向き)教科のオンライン化。②ネットリテラシー(オンライン利用の常識)教育の必要性。順に報告する

①個別指導必須(オンライン不向き)教科のオンライン化の問題点とその解決策について。オンライン化については、「鉛筆からタブレットへの移行」、「教員と学生のドライブの共有」等、ツールのデジタル化があるが、今回検討したのは、オンライン化が不向きである「個別指導教科」のオンライン化における問題解決だ。この課題に該当する科目は、当科授業の柱として位置付けている「美術基礎デッサン」だ。本科入学生は「美術」の就学経験がほぼ無く、美術基礎が身に付いている学生は皆無である。そのような彼らを就活レベルに到達させるには、ある時期から個別指導が必須になる。これを前提に「第一の問題」は、学生の自宅環境の整備。自宅でオンライン学習する場合、ネットワークインフラを自前で整備しなければならない。特に、双方向通信する場合は、インフラ整備は受講の質を左右するため重要になる。さらに、デッサンモチーフは各自用意しなければならない。デッサン画のA/D変換の環境も各自用意になる。「第二の問題」は、指導時間が膨大になることだ。デッサンは全学生(約300名)が受講するため、全員をオンライン化して個別指導した場合、指導時間が教員の許容時間を大幅にオーバーする。解決策として、ネットでシェアできるコラボツール(例えば、トンコハウスの有料オンラインサロン等)を紹介された。これらのコンテンツはオンラインで描画指導を実施しており、成果を期待できる。教員のオーバーロード対策として、学科(教員)が全て負うのではなく、このようなツールの利用を検討してはどうか。具体的な提案を受けた。

②ネットリテラシー(オンライン利用の常識)教育の必要性について。コロナによる出勤停止対策として、多くの企業は「在宅勤務(オンライン勤務)」を採用したが、そのことにより社内のコミュニケーション作法が大きく変わった。新作法において最も重要なのは「ネットリテラシー」だ。この能力が低いと、円滑なコミュニケーションが取れないだけでなく、コミュニケーションそのものが成立せず、社員として戦力にならない場面が幾度かあった。特に、新人教育の時期において、新人のネットリテラシー不足が原因で、指導効果が期待できないと判断された場合、(委嘱期間中の)就労契約解除になる恐れがある。専門学校においては「リベラルアーツ」として開講するか、あるいは「オンライン授業の受講」によって経験を積ませるなど、ネットリテラシー向上の対策を施す必要があると助言を受けた。

今回議題として検討した「カリキュラム見直し」と「オンライン授業」。「カリキュラム見直し」はトレンドの早期理解が重要なので、外部セミナー等へ積極的に参加したいと考える。「オンライン授業」は初めて取り組む課題のため、組織として未熟な部分もあり、また、潜在化している問題も多く存在すると思われるので、継続的に取組みたいと考える。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現場と同等の作品制作のプロセスを修得させ、就職活動に対応可能な作品を完成させる。そのために、各自に適切な(希望職種に合った)課題を与え、「企画立案」～「プレビス制作」～「企画チェック」～「作品制作」～「中間講評による課題確認」～「作品の仕上げ」の一連の流れを「実習・演習」の授業で実践する。各フェーズにおいてCG業界のプロのデザイナーの指導を受ける。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

CGソフトウェアの技術的指導と演習課題策定をCG制作の現場としての視点で行う。講義とハンズオン形式の演習でオペレーションを学習しつつ、毎回の到達目標に合わせて少しずつ作品課題制作を進めていく。さらに、作品制作と並行して、映像制作の現場で必須となる映像編集、映像合成、VFXなど、個別の技術的指導を学生の作品レベルに合わせて企画・演出面の指導を実施する。毎回の到達目標の設定及び、適切な学生の作品レベルの確認は、専任教員と協議し決定する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
デジタル演習5	映像作品の方向性、構成、演出方法をよく把握し、映像の編集に必要なリズムのとり方、編集する技術を身につける。Premiere Pro、After Effectsの操作に習熟すること。	(有)ピー・エス・ティー
VFX演習2	Unreal Engine4 の用語やワークフローなどを理解し、知識として身につけ作品課題を通じて、Unreal Engine4 を用いた制作プロジェクトにおける実践能力と問題解決能力を培う。	(株)もももワークス
プロジェクトワーク7	撮影時のカメラの設定、撮影方法を少人数のグループで行い、これらのデータを編集ソフトウェア上で調整、CGの素材との合成を行った上で、ショートムービーとしてまとめる。	(有)ピー・エス・ティー
プロジェクトワーク10	個人、またはグループにて、就職活動に実際に使用する作品を完成させる。学生個々のスキル、進路に応じて企画立案の指導を行い、それぞれの特性に合わせ、作品のジャンルを設定する。	(有)ワンドット

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、担当授業のスキルと、担任としての人間力や学生への指導力向上を目指すことを目的に学科主催の研修を実施する。あるいは、規定に即した既存のセミナーを利用する。
 学科主催の研修は、受講効果の成果を上げるため、基本的なものと専門性の高いものに分け、教員のレベル(新人、ベテラン)に合わせて選択し受講させる。
 人間力向上のための研修は、担任は勿論、科目担当者、学科運営のサポート要員も含め、学科全員参加を原則とし実施する。
 なお、いずれの研修も研修受講後にレポートを提出させ、責任者(上長)が検証して、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「CGWORLD 2021 クリエイティブカンファレンスオンライン」
 連携企業等: ポーンデジタル
 期間: 2021年11月8日(月)～12日(金) 対象: CG業界従事者その他
 内容: CG業界の技術カンファレンスにおいて業界における実務の現状、また最新の技術動向などを確認する。

研修名「モーションモンスター」
 連携企業等: 株式会社Vook
 期間: 2021年6月9日(水)～12日(土) 対象: CG業界従事者その他
 内容: 様々な映像制作セッションにおいて、デザイン・アニメーション・モーショングラフィックス・CGVFXの最新の動向を探る。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学びを促すルーブリック(基礎編) ルーブリックの意義と作成方法」
 (連携企業等: 浦田 悠(うらた・ゆう) 大阪大学全学教育推進機構特任講師)
 期間: 2021年11月17日(水)
 対象: CG映像科 全教員 (日本工学院専門学校 教員)
 内容: 「ルーブリックを用いた評価」により予め「評価基準」を示しておくことで、「何が評価されるのか」についての情報を教員(講師)と学生の間で共有し、より明確で信頼度の高い評価づけを行う。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「コロナ禍でのエンターテインメント業界の変化と教育」

(講師:元日経エンターテインメント編集 品田 英雄)

期間:2022年8月29日(月)

対象:CG映像科 全教員

内容:エンターテインメント業界の動向に詳しい講師をお迎えし、コロナ禍で業界とその考え方がどのように変容しているかを学ぶ。

研修名「CGWORLD 2022クリエイティブカンファレンスオンライン」

連携企業等: ボーンデジタル

期間:2022年11月6日(日) 対象:CG業界従事者その他

内容:CG業界の技術カンファレンスにおいて業界における実務の現状、また最新の技術動向などを確認する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「メンタルヘルスケアについて」

連携企業等: 当校ヘルスサポートセンター

期間:2022年10月の実施を予定

対象:CG映像科教職員及び関連学科教職員

内容:具体的内容は検討中

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3) 教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4) 学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6) 教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8) 財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	(32)関連法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動
(11) 国際交流	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った自己点検の評価について
評価委員からの主な意見は次のとおりで、それについての活用(対応)方法は以下のとおりとなります。

- ・コロナ禍の予測不能の事態や学生への対応が実に丁寧になされ成果を上げていることが理解できました。理事長を先頭に新たな取り組みも着実に進められていることに敬服します。
- ・SDGsに関連する学校としての取り組み。実質、関連項目や実施している事はあるかもしれないが、説明のなかで「SDGs」という言葉が出てこなかったのも、関連する内容には入れても良いと思います。
- ・各分野において情報は常に更新されているので、教職員の方々の知識・情報もアップデートが重要と考えます。月1回の研修の成果・効果を確認するような取組も検討してはいかがでしょうか。
- ・コロナ禍において情報の収集・管理については難しい点多いと思いますが、校友会・卒業生就職先とのコミュニケーション強化に努めていただければと思います。
- ・既に検討されていることと思いますが、保護者会もオンラインで開催するなど遠方でも参加できるような取組をされてもいいかと思えます(環境によってオンラインが難しい場合などは個別に電話対応など。すでに実施されていたらご容赦下さい)。
- ・コロナ禍及びワクチン接種も個人の考えで必須に出来ない中、日本工学院八王子専門学校様の対応を含めた活動は非常に参考となり、勇気ももらえるものでもありました。政府が明確な線引きをしていない現状では、企業も学校も探りさぐりにはなってしまうが、多角的な面で情報交換を行い、この状況を乗り切っていければと思います。
- ・丁寧なご説明有難うございました。コロナ禍において、教育目標に掲げる「スチューデントファースト」を実現することは容易ではないと思いますが、制作室や実習等の新設などの取組みによって学生のモチベーションが上がることを期待します。また、私はテレビ技術会社の採用担当として、貴校からの応募者と毎年向き合っておりますが、近年、「どうしてもこの仕事に就きたい」という意気込みを持った学生さんが少なくなったように感じます。実際の現場で必要な技術は学校だけで習得できるものではありませんが、その魅力・楽しさをお伝えいただき、専門職に夢を持った「若きつくりびと」を多く輩出していただきたいと願っております。
- ・教職員の研修も外部のオンライン研修などを活用してはいかがでしょうか。外部のコンテンツを利用することで学内コンテンツを増やすヒントになるのではないかと思います。
- ・コロナ禍において進路決定率が上がったことは素晴らしいことであったが退学率が上がっている学科が気になりました。
- ・株主総会もオンラインの時代ですので保護者会もオンラインで出来たのではないのでしょうか。
- ・工学院の名前に合ったネットワーク、ICT等の環境を整えて上げてください。
- ・時節柄、授業を実施する事や様々な学生支援に工夫をされている事が十分に理解する事が出来、いつものことですが、感心させられる事ばかりでした。今後は、学生への「心のケア」をして頂ければと思います。メンタルトレーニング的なものも取り入れても良いかと思えます。

以上、学校関係者評価委員会において討議された内容を踏まえ、次の4点について検討し活用する。

1. コロナ禍において、教育目標に掲げる「学生中心主義」を教職員一丸となり実行する。
2. 学生・保護者からの要望に応えられるよう、今後とも万全な体制を整える。
3. 質の良い授業(オンライン授業含め)を提供できるよう、教員のスキルアップのための研修等を充実させる。
4. withコロナの新しい時代における高専連携・地域貢献・地域連携を模索していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 専務理事	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	地域関連
山本 哲志	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 執行役員 企画戦略室 室長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	デザイン企業等委員
鈴木 浩之	株式会社田中建設 取締役 建築部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	スポーツ企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事務長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	医療企業等委員

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 令和4年9月30日

URL:<https://www.neec.ac.jp/public/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、令和3年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

(3) 情報提供方法

ホームページ

URL:<https://www.neec.ac.jp/public/>

授業科目等の概要

(情報科学専門課程CG映像科)令和4年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
			○	検定対策1	各種検定(認定)試験合格のためのスキルを修得します	1・前	30	2	○			○		○		
			○	検定対策2	各種検定(認定)試験合格のためのスキルを修得します	1・後	30	2	○			○		○		
			○	ビジネススキル1	社会進出のために必要とされる基本的なスキルを身につけます。	1・後	30	2	○			○			○	
	○			プレゼンテーション1	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。また、自己表現のツールとして重要なポートフォリオ(作品集)について研究し、実際に作品をまとめる作業を行っていきます。	1・前	30	1			○	○			○	
	○			プレゼンテーション2	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。また、自己表現のツールとして重要なポートフォリオ(作品集)について研究し、実際に作品をまとめる作業を行っていきます。	1・後	30	1			○	○			○	
	○			デジタル演習1	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作における基礎的なデジタル技法を修得します。	1・前	60	2			○	○			○	○
	○			デジタル演習2	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作における基礎的なデジタル技法を修得します。	1・前	60	2			○	○			○	○
	○			デジタル演習3	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作における基礎的なデジタル技法を修得します。	1・後	60	2			○	○			○	○
	○			デジタル演習4	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作における基礎的なデジタル技法を修得します。	1・後	60	2			○	○			○	○
	○			プロジェクトワーク1	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。	1・前	60	2			○	○			○	○
	○			プロジェクトワーク2	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。	1・前	60	2			○	○			○	○
	○			プロジェクトワーク3	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。	1・後	60	2			○	○			○	○
	○			プロジェクトワーク4	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。	1・後	60	2			○	○			○	○
	○			デッサン1	デッサンを通してCGデザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	1・前	60	2			○	○			○	○
	○			デッサン2	デッサンを通してCGデザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	1・後	60	2			○	○			○	○
	○			美術基礎1	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教養を学びます。デッサンの補習を行う場合もあります	1・前	60	2			○	○			○	○

授業科目等の概要

(情報科学専門課程CG映像科)令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
17	○			美術基礎2	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教養を学びます。デッサンの補習を行う場合もあります	1・後	60	2			○	○		○	○	
18			○	ビジネススキル2	社会進出のために必要とされる基本的なスキルを身につけます。	2・前	30	2	○			○		○		
19			○	キャリアデザイン1	業界研究、自己分析などをさらに進め、キャリアパスの構築を行います。	2・後	30	2	○			○			○	
20	○			プレゼンテーション3	自己表現や作品アピールの方法について学びます。また、ポートフォリオ(作品集)をまとめる作業も行います	2・前	30	1			○	○			○	
21	○			プレゼンテーション4	自己表現や作品アピールの方法について学びます。また、ポートフォリオ(作品集)をまとめる作業も行います	2・後	30	1			○	○			○	
22	○			デジタル演習5	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作におけるより高度なデジタル技法を修得します。	2・前	60	2			○	○		○	○	○
23	○			デジタル演習6	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作におけるより高度なデジタル技法を修得します。	2・前	60	2			○	○		○	○	
24	○			デジタル演習7	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作におけるより高度なデジタル技法を修得します。	2・後	60	2			○	○		○	○	
25	○			デジタル演習8	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作におけるより高度なデジタル技法を修得します。	2・後	60	2			○	○		○	○	
26	○			プロジェクトワーク5	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります	2・前	60	2			○	○		○	○	
27	○			プロジェクトワーク6	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります	2・前	60	2			○	○		○	○	
28	○			プロジェクトワーク7	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります	2・後	60	2			○	○		○	○	○
29	○			デッサン3	デッサンを通してCGデザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	2・前	60	2			○	○		○	○	
30	○			デッサン4	デッサンを通してCGデザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	2・後	60	2			○	○		○	○	
31	○			美術基礎3	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教養を学びます。デッサンの補習を行う場合もあります	2・前	60	2			○	○		○	○	
32	○			美術基礎4	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教養を学びます。デッサンの補習を行う場合もあります	2・後	60	2			○	○		○	○	

授業科目等の概要

(情報科学専門課程CG映像科) 令和4年度																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○			VFX演習1	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2・前	30	1			○	○			○	
	○			アニメーション演習1	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2・前	30	1			○	○			○	
	○			モデリング演習1	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2・前	30	1			○	○			○	
	○			VFX演習2	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2・後	60	2			○	○			○	○
	○			アニメーション演習2	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2・後	60	2			○	○			○	
	○			モデリング演習2	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2・後	60	2			○	○			○	
	○			キャリアデザイン2	業界研究、自己分析などをさらに進め、キャリアパスの構築を行います。企業を招いて業界セミナーを実施する場合があります。	3・前	30	2	○			○			○	
	○			キャリアデザイン3	業界研究、自己分析などをさらに進め、キャリアパスの構築を行います。企業を招いて業界セミナーを実施する場合があります。	3・後	30	2	○			○			○	
	○			表現研究1	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。デモリールによる作品アピールの技法などを研究し、より効果的なポートフォリオの制作に臨みます。	3・前	60	4	○			○			○	
	○			表現研究2	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。デモリールによる作品アピールの技法などを研究し、より効果的なポートフォリオの制作に臨みます。	3・後	30	2	○			○			○	
	○			制作特論1	専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の理解をより深めるために、専攻に強く関連するリベラルアーツを専攻別に用意し受講します	3・前	60	4	○			○			○	
	○			制作特論2	専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の理解をより深めるために、専攻に強く関連するリベラルアーツを専攻別に用意し受講します	3・後	60	4	○			○			○	
	○			デジタル演習9	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作のより高度なデジタル技法を修得します。	3・前	60	2			○	○			○	
	○			デジタル演習10	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作のより高度なデジタル技法を修得します。	3・前	60	2			○	○			○	
	○			デジタル演習11	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作のより高度なデジタル技法を修得します。	3・後	60	2			○	○			○	
	○			デジタル演習12	多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作のより高度なデジタル技法を修得します。	3・後	30	1			○	○			○	

授業科目等の概要

(情報科学専門課程CG映像科)令和4年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
48	○			プロジェクトワーク8	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります	3・前	60	2			○	○		○	○	
50	○			プロジェクトワーク9	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります	3・前	60	2			○	○		○	○	
51	○			プロジェクトワーク10	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります	3・後	60	2			○	○		○	○	○
52	○			プロジェクトワーク11	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります	3・後	30	1			○	○		○	○	○
53		○		VFX演習3	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	3・前	60	2			○	○				○
54		○		アニメーション演習3	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	3・前	60	2			○	○				○
55		○		モデリング演習3	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	3・前	60	2			○	○				○
56		○		VFX演習4	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	3・後	60	2			○	○				○
57		○		アニメーション演習4	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	3・後	60	2			○	○				○
58		○		モデリング演習4	3科目の中から、希望する専攻(VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	3・後	60	2			○	○				○
合計						58科目		2970単位時間(113単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目2190時間(82単位)および選択科目240時間(90単位)以上取得し、合計2430時間(91単位)以上取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週